業績調書 【 記入要領 】

（ 著書，論文，学会発表及び研究報告等 ）

＜記入例＞や＜留意事項＞を確認し，項目ごとに**発行年月が新しいものを上から順に**記載してください。

【 全体の共通事項 】

〈留意事項〉

- 業績がない項目については，項目を残して“なし”と記載してください。（記入例や番号は削除）
- 修士論文，博士論文は記載しないでください。
- 論文は査読の有無を記載してください。
- 著者等が複数いる場合はすべての氏名を論文等に記載されている順に記載し，自身の氏名にアンダーライン（ 氏名 ）を付してください。ただし，著者等が非常に多数にわたる場合は，本人を含めて主な著者等を記載し，以下を“他○名”として省略しても問題ありません。
- 自身が責任著者（コレスポンディング・オーサー）の場合は，ダブルアンダーライン（ 氏名 ）を付してください。
- 共同第一著者（コファーストオーサー）の場合は，それがわかるように表記してください。
- 基本的に未発表のものは記入できません。掲載が確定している論文については，発行年月を“Accept”や“In Press”と記載し，学会発表等で発表が確定している場合は，発表年月を“****年**月（予定）”としてください。

①【 著書 】

〈記入例〉

編著者名	著書名	出版社名	ISBN
宇大花子編著 ：	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ，	○○出版 ，	ISBN978-4-1111-2222-3 ，

担当部分と担当ページ（分担執筆の場合）	著書全体のページ数	発行年月	区分（単著，共著，分担執筆等）
担当部分：第○章「○○○○○」（pp. 164-201），全○ページ		，2021. 12.	〔分担執筆〕

〈留意事項〉

- 個人又は研究者グループ等が，学術研究の成果を公開するために刊行したものであって，ISBN が付与されている図書を記入してください。ただし，以下に該当するものは除きます。
  - A) すでに類似の成果が刊行されているもの。
  - B) すでにインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文又は公表が義務付けられている論文（例：博士論文）を単に集成し，刊行するもの。
  - C) 学術研究の成果とは言い難いもの。
  - D) 大学，研究所等の研究機関及び学術団体等がその事業として翻訳・校閲・刊行すべきもの。
  - E) 出版社等の企画によって刊行するもの。
  - F) 市販しないもの。
  - G) 著者の自費により出版するもの。
- 区分には，単著，共著，編著，共編著，分担執筆など，執筆への関わり方を記載してください。著書の表紙や奥付に記載されている場合に限り，共著，編著，共編著とすることができます。
- 分担執筆の場合は，担当部分と担当ページ数を記載してください。
- 翻訳については，その翻訳物が ISBN を付与された書籍に掲載される場合は，記入することができます。その場合は，翻訳であることや関わり方（単独訳，共訳，分担翻訳等）を明記するとともに，原著書に関する情報（著者名，著書名，出版社名，発行年月等）も記載してください。
- 辞書の項目，翻訳書の訳注，年表等の資料の出版物等については，【その他】欄に記載してください。

②【 国内論文（ 日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物で，査読制度が設けられているもの ）】
③【 国内論文（ 上記以外 ）】

〈記入例〉

著者名	論文題目	査読の有無	学会誌名
宇大花子 ， 宇 大 太 郎 ：	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付） ，		○○○学会誌 ，

巻号	掲載ページ	発行年月	学会誌の発行元
Vol. 22, No. 2, pp. 124-132, 2021. 2. ，			○○学会

〈留意事項〉

- 学会や分野において原著論文として扱われている論文の掲載実績について記載してください。解説や総説，研究報告は，【その他】欄に記載してください。
- 日本学術会議の学会名鑑（ https://gakkai.scj.go.jp/ ）に掲載されている学会が発行しており，査読制度が設けられている刊行物に掲載された原著論文については ②【国内論文（日本学術会議協力学術研究団体…）】に記載し，それ以外の原著論文は ③【国内論文（上記以外）】に記載してください。

④【 国外論文（ ジャーナル評価指標付論文 ）】
⑤【 国外論文（ 上記以外 ）】

〈記入例〉

著者名　論文題目　査読の有無　学会誌名　巻号

Hanako Udai, Taro Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），○○○Journal, Vol. 123,

掲載ページ　発行年月　学会誌の発行元　評価指標の値（④だけ）

pp. 5512-5520, 2021. 10. ，○○Publishers, （IF：X. XX）.

〈留意事項〉

- 学会や分野において原著論文として扱われている論文の掲載実績について記載してください。解説や総説，研究報告は，【その他】欄に記載してください。
- ジャーナル評価指標付論文とは，以下のいずれかを指します。該当する場合は評価指標値を記載してください。
  - A) Clarivate Analytics 社の Journal Citation Reports が公開しているインパクトファクター（文献引用影響率）
  - B) Elsevier 社が公開している CiteScore（サイトスコア）
- 日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物のうち、外国語で作成され、かつ、ジャーナル評価指標が付与されている論文については、 ④【国外論文（ジャーナル評価指標付論文）】に記載してください。

⑥【 国際会議論文（ プロシーディング（ 講演要旨集 ）など ）】

〈記入例〉

著者名　論文題目　査読の有無　学会大会名，開催場所

HanakoUdai, Taro Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），International Conference on ○○○ ，

掲載ページ　要旨集の発行年月

pp. 551-558, 2021. 12.

⑦【 紀要 】

〈記入例〉

著者名　論文題目　査読の有無　研究紀要名　巻号　掲載ページ

宇大太郎，宇大花子，他：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），○○○大学紀要，○号，pp. 11-30，

発行年月

2021. 6 .

⑧【 学会発表 】

〈記入例〉

発表者名　研究発表等の題目　学会大会名，開催場所　発表年月

宇大花子 ： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ， ○○学会○○大会（東京） ， 2021. 12. ，

招待講演等の場合はその旨

（招待講演）

〈留意事項〉

- 国際学会や招待講演，基調講演の場合は，それぞれ“（国際学会）”，“（招待講演）”，“（基調講演）”と追記してください。複数に該当する場合は併記してください。

⑨【 作品等 】

〈記入例〉

作者名　作品名　作品展等の名称　作品展等の開催機関　開催年月　受賞等があった場合はその内容

宇大花子：○○○○○○，○○○○○展示会出展，○○○○美術館， 2020. 1. ，○○○賞

宇大花子：○○○○○○，○○○○○プロジェクト，○○県○○市， 2019. 4.，○○○○誌掲載

〈留意事項〉

- 以下のいずれかに該当する業績について記載してください。
  - A) 第三者によって評価がなされ公開されているもののうち，公的機関（※）が設置する文化芸術施設（美術館，博物館，劇場，音楽堂，文化ホールなど）による賞・表彰を受けたもの，又は全国紙や専門誌の批評に掲載され評価されたもの。（私的な団体や個人による賞・表彰及び一般誌における掲載物は除く。）
  - B) 公的機関（※）が設置する文化芸術施設による招待又は審査を経て，公的な作品展・芸術祭にて公開されているもの。（自大学において研究成果発表として公開する作品は除く。）
  - ※ 国、地方公共団体又は文化・芸術の振興を目的としており行政庁（内閣府又は都道府県）からの公益認定を受けている法人

⑩【 特許等 】

〈記入例〉

発明者名　発明の名称　出願番号　公開番号　特許番号
宇大花子 ： ○○○○○○○， 特願○○○○-○○○○○， 特開○○○○-○○○○○， 特許第○○○○○，
特許出願人　登録年月
特許出願人：○○○○株式会社，2020．6.

〈留意事項〉

- 自身の専攻，研究分野に関連する特許，実用新案，意匠などについて記載してください。
- 発明者名は，登録されている順番に記載してください。
- 出願や公開にとどまる業績については，【その他】欄へ記載してください。
- 特許等に関する情報は，独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）が提供する特許情報プラットフォーム（ https://www.j-platpat.inpit.go.jp/ ）で確認することが可能です。

⑪【 その他 】(研究報告)
⑫【 その他 】(解説・総説)

〈記入例〉

著者名　研究報告等のタイトル　掲載紙名　巻号　掲載ページ　掲載年月
宇大花子 ： ○○○○○○○○○○○○○○○， ○○○学会誌， Vol．54，No．4，pp．5-18 ， 2018．4.，
掲載紙の発行元
○○学会

〈留意事項〉

- 学会や分野において原著論文として扱われていない論文（査読の有無を問わず）や商業科学誌に掲載された研究報告等について記載してください。
- 一般商業誌などへの記事掲載の実績については，業績調書の「学会活動，社会活動等」の【その他】に記載してください。

⑬【 その他 】(特許申請等)

〈記入例〉

発明者名　発明の名称　出願番号　公開番号
宇大花子 ： ○○○○○○○ ， 特願○○○○-○○○○○ ， 特開○○○○-○○○○○ ，
特許出願人　出願年月
特許出願人：○○○○株式会社，2020．6.

〈留意事項〉

- 発明者名は，出願書類に記載されている順番に記載してください。
- 登録まで至っている業績については，【特許等】欄へ記載してください。
- 特許等に関する情報は，独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）が提供する特許情報プラットフォーム（ https://www.j-platpat.inpit.go.jp/ ）で確認することが可能です。

⑭【 その他 】(資格・免許)

〈記入例〉

資格・免許の名称　登録番号　取得年月
医師免許 ，第○○○○○号，20**年*月取得

〈留意事項〉

- 医師，歯科医師，薬剤師，獣医師，看護師，建築士，技術士，教員等の資格や免許で，本学での業務に関連するものを取得している場合は記載してください。

業績調書 【 記入要領 】

（ 学会活動，社会活動等 ）

＜記入例＞や＜留意事項＞を確認し，項目ごとに**開始日や発行年月等が新しいものを上から順に**記載してください。

【 全体の共通事項 】

〈留意事項〉

- 実績がない項目については，項目を残して“なし”と記載してください。（記入例や番号は削除）

①【 学会活動 】

〈記入例〉

学会名	役職や委員の名称等	任期
○○○学会，	国際会議実行委員会委員長，	2006～2008 年

〈留意事項〉

- 所属学会で理事や幹事等の役職に就いた経験がある場合や，学会大会の実行委員会や学会誌の編集委員会などの委員等を務めた経験がある場合は，その内容について記載してください。
- 所属学会の会員であった期間などについては，記載しなくても差し支えありません。

②【 社会活動 】

〈記入例〉

審議会や委員会等の名称	役職や委員の名称等	任期
△△県○○○評価委員会，	委員長 ，	2012 年～現在

〈留意事項〉

- 自身の専攻，研究分野等に関連し，専門的な知見を活かして，教育研究活動以外の活動で社会に貢献した経験がある場合は，その内容について記載してください。
- この欄に記載することが想定されものを，以下のとおり例示します。
  - A) 国や地方自治体の審議会や専門部会，各種委員会，検討会，研究会等の委員
  - B) 国や地方自治体が主催する講演会や研修会の講師や指導助手
  - C) 国内外の標準化活動に関する委員会の委員

③【 その他 】

〈記入例〉

掲載媒体等の種別	掲載媒体等の名称	記事や番組のタイトル等	掲載等年月
（新聞）	○○新聞	，△△△△△△△△△△△△△，	2022．2

〈留意事項〉

- 自身の専攻，研究分野等に関連して，新聞や一般商業誌に記事が掲載されたことや，テレビやラジオへの出演などがあった場合に，その内容について記載してください。
- 掲載媒体等の種別は，新聞，雑誌記事，テレビ放映，ラジオ放送，広報誌などから適当なものを括弧書きで記載してください。
- 必要に応じて，当該記事等の概要を簡潔に記載してください。

業績調書 【 記入要領 】

（ 外部資金獲得状況 ）

＜記入例＞や＜留意事項＞を確認し，項目ごとに**採択時期が新しいものを上から順に**記載してください。

【 全体の共通事項 】

〈留意事項〉

- 実績がない項目については，項目は残して“なし”と記載してください。（記入例や番号は削除）
- 研究プロジェクト遂行における立場（担当状況）を，以下を踏まえて記載してください。
  - A) 代表 ： 研究代表者（研究プロジェクト全体の推進に責任を負う研究者）
  - B) 分担 ： 研究分担者（研究プロジェクトに参画する研究者で，研究費の一部に裁量を持つもの）
  - C) その他 ： 研究プロジェクトに参画する研究者や研究者以外の者で，研究費に裁量を持たないもの
- 研究プロジェクトにおける直接経費の配分額を，以下を踏まえて記載してください。
  - A) 研究代表者 ： 当該研究プロジェクト全体の直接経費の総額
  - B) 研究分担者 ： 分担者として配分を受けた直接経費の金額（※）
    - ※ 研究分担者として配分を受けた金額を明確に分けることが困難な場合は，当該研究プロジェクト全体の直接経費の総額を記載した上で，“（自身の配分額が不明確であるため，総額を記載）”と追記してください。
  - C) その他 ： 研究費の配分を受けずに参画していた場合は，“配分なし”と記載

①【 科研費 】

〈記入例〉

研究期間（年度）	研究種目	研究課題	直接経費の配分額	担当状況
2006～2008 年度	若手研究（B）	□□□□□に関する研究	○，○○○千円	代表

〈留意事項〉

- 日本学術振興会の科学研究費助成事業で，特定の研究課題の遂行に対して行われる研究助成に関する実績を記載する項目です。
- 「研究成果公開促進費」の獲得実績は，【その他】欄に記載してください。

②【 共同研究，受託研究 】

〈記入例〉

実施体制	研究期間（年度）	研究課題	契約の相手先名称	直接経費の配分額	担当状況
（共同研究）	2013 年度	○○の測定技術に関する研究	○○工業（株）	○○○千円	代表

〈留意事項〉

- 研究課題の実施体制について，以下を踏まえて，括弧書きで記載してください。
  - A) 共同研究 ： 他機関と共同又は分担して共通の課題の研究を実施する体制
  - B) 受託研究 ： 他機関から特定課題の研究遂行に関する委託を受け，自機関が主体的に実施する体制

③【 寄附金 】

〈記入例〉

研究期間（年度）	研究課題	寄付者等の名称	直接経費の配分額	担当状況
2009 年度	○○に関する研究助成	○○工業（株）	○○○千円	代表

〈留意事項〉	● 特定の研究課題の遂行のために，民間企業や団体，個人等から寄附金（助成金を含む）を受け入れた実績がある場合は，その内容を記載してください。

④【 その他 】	
〈記入例〉	研究期間（年度） 研究課題等の名称 事業や補助金等の名称 事業等実施者の名称 直接経費の配分額 2019～2020 年度，□□□□□に関する研究，○○○○推進事業 ，○○省 ，○，○○○千円 ， 担当状況 代表
〈留意事項〉	● 【 科研費 】や【 共同研究，受託研究 】，【 寄附金 】のいずれにも該当しない資金（国等による補助金や，所属機関独自の研究費支援制度 等）の獲得実績がある場合は，この欄に記載してください。 ● 本学（宇都宮大学）からのものと，それ以外のものとで分けて記載してください。

業績調書 【 記入要領 】

（ 教育実績 ）

＜記入例＞や＜留意事項＞を確認して記載してください。

【 全体の共通事項 】

〈留意事項〉

- 実績がない項目については，項目は残して“なし”と記載してください。（記入例や番号は削除）
- 記載されている項目以外に，本学での業務に関連する教育実績（所属機関における研修講師等 ※）がある場合は，【その他】の項目を追加して，その教育実績の内容を記載してください。（他の項目で多数の教育実績がある場合は記載いただく必要はありません。）

  ※【 社会活動 】に記載した実績は記載しないでください。

①【 ティーチング・アシスタント 】 ②【 リサーチ・アシスタント 】

〈記入例〉

在籍していた大学院の専攻名等　　**従事期間**

○○大学大学院○○研究科博士前期課程○○専攻在籍時，2013 年 5 月～2014 年 10 月

〈留意事項〉

- ティーチング・アシスタントやリサーチ・アシスタントとして教育研究活動に従事した期間がある場合は，その従事していた時に在籍していた大学院の専攻名や従事期間を記載してください。
- これ以外の項目で多数の教育実績がある場合は，記載を省略していただいて問題ありません。（その場合は，項目ごと削除してください。）

③【 担当授業科目 】

〈記入例〉

開講大学名　開講時の役職　開講年度

○○○大学，准教授　　，20**年度

開講学科・専攻，科目区分等の名称

○○学部○○学科専門科目

担当授業科目名　担当授業科目に関連する情報

○○工学実験Ⅰ　（分担，総担当教員 ○名）

卒業研究　　（卒業論文科目）

〈留意事項〉

- 直近の年度（当年度又は前年度）で担当した授業科目の実績を，学科や専攻などに区分して記載してください。
- 以下を踏まえて，担当授業科目に関連する情報を記載してください。（いずれにも該当しない場合は不要）

  A) 共同やオムニバス等，複数人で担当している場合

  ："（分担，総担当教員 ○名）" と記載　※○は授業担当教員の総数

  B) 学士課程の科目で，卒業論文や卒業研究，卒業制作等に相当する科目を担当している場合

  ：“（卒業論文科目）” と記載

  C) 大学院の科目で，研究指導科目を担当している場合

  ：“（研究指導科目）” と記載

④【 研究指導資格 】

〈記入例〉

資格取得年月　資格を取得した専攻や課程等の名称　**資格の種類**

20**年○月　○○大学○○研究科○○専攻博士前期課程　研究指導資格（設置審）

〈留意事項〉

- 大学院での研究指導資格（マル合）や研究指導補助資格（合）を取得した実績がある場合は，その内容を記載してください。
- 文部科学省の大学設置・学校法人審議会による教員資格審査により資格を認められた場合には，「資格の種類」に“（設置審）”と追記してください。

⑤【 研究指導 】

〈記入例〉

直近の年度
（20**年度）

課程名称	担当区分	在籍中の学生（直近の年度に限る）
博士前期課程修了者	主指導　〇名	（左記の他〇人在籍）
	副指導　〇名	（左記の他〇人在籍）

〈留意事項〉

- 各課程の修了者数については，直近の年度（当年度又は前年度）の数とそれより前の年度の合計に分けて記載してください。
- 直近の年度（当年度又は前年度）時点で在籍中の指導学生がいる場合は，その人数を括弧書きで記載してください。

⑥【 非常勤講師 】

〈記入例〉

開講大学名	開講年度
〇〇大学	20**年度

担当授業科目名	担当授業科目の概要	担当授業科目の受講対象者
〇〇〇〇学	（内容：〇〇学に関する講義，	対象：主として〇学部１年生）

〈留意事項〉

- 直近の年度（当年度又は前年度）で，非常勤講師として授業科目を担当した実績がある場合は，その内容を記載してください。